

研究主題「ものの見方や考え方を広げる指導の工夫

—文学的な文章の読解を通して—

東京都教職員研修センター研修部専門研修課

狛江市立狛江第二中学校 教諭 高原美和子

I 研究のねらい

書かれた文章を正確に読み、ものの見方や考え方を広げて自分なりの考えをもてるようになることは、人が社会生活を主体的に営む上で、大切な力の一つになると考える。

中学校学習指導要領「読むこと」の指導事項にもその重要性が明記されている。

しかし、「平成15年度教育課程実施状況調査」では「読むこと」について、叙述に即して自分の考えや感想をもつ点に、また、「平成15年度児童・生徒の学力向上を図るための調査」では文章に表れているものの見方や考え方を理解する点に課題があることが明らかにされた。

こうした課題を踏まえ、授業で生徒が文章に即してものの見方や考え方をとらえ、ものの見方や考え方を広げる指導方法の工夫が必要であると考え、その開発を研究のねらいとした。

II 研究の内容と方法

1 研究仮説

「読むこと」の指導において、自分の考えやその根拠を交流する場を効果的に設定することで、生徒は自らの考えを組み立て直すことができ、ものの見方や考え方を広げることができる。

2 研究の内容と方法

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の中学校国語科に求められている課題を明らかにする。 ・交流という学習方法の効果と方法について明確にする。 ・生徒の実態と教員の意識を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」の指導においてものの見方や考え方を広げることをねらいとした指導の具体化を図る。
----	---	--

	基礎研究	調査研究	検証授業
方法	<ul style="list-style-type: none"> ① 中学校学習指導要領国語科の指導事項の分析 ② 「平成15年度教育課程実施状況調査」及び「平成15年度児童・生徒の学力向上を図るための調査（東京都）」の結果分析 ③ 文学的な文章の指導に関する先行研究の分析 ④ 交流と学びに関する文献の分析 	<ul style="list-style-type: none"> ① 文学的な文章を「読むこと」の指導に関する教員に対する調査 ② 生徒同士を交流させる上での課題についての調査 ③ 文学的な文章を「読むこと」に関する生徒に対する調査 ④ 国語の授業における生徒の意識調査 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」の指導におけるものの見方や考え方を広げる指導の流れの作成 ① 生徒同士の交流の場を設定すること ② 交流の方法としてのブレインライティング法の活用 ③ 交流の時間を生み出すための指導の焦点化

ブレインライティング法
ブレインライティング法はドイツの形態分析法の専門家ホリゲルによって開発された発想法である。6人程度で一つのグループを作り、一つのテーマについてアイデアを時間を決めて順番に出し合い、用紙に記入していき、そのアイデアをもとに最終的にはアイデアを全員で評価してしぼっていくという方法である。自己主張があまり得意ではない者同士でもアイデアを出し合えるという利点をもつ技法である。（参考文献：「問題解決手法の知識」高橋 誠 日経文庫）

III 研究の結果と考察

1 基礎研究及び調査研究から明らかになった課題

(1) 「読むこと」の指導における課題

調査では「文章に表れているものの見方や考え方を理解し、それを基に自分のものの見方や考え方を広げること」の難しさを挙げている教員が60%いた。このことや基礎研究から「読むこと」の指導において、文学的な文章の理解に関連付けて自分の意見をもったり、考え方を広げたりすることが課題の一つであることが明確になった。その解決のためには「叙述からものの見方や考え方をとらえさせる」だけの指導では不十分であり、こうした指導に加え、叙述からとらえた考え方に対する生徒自身の考えやその根拠を問い、自分の意見をもたせるという

指導の工夫について考えていく必要がある。また、限られた時間数の中でいかに計画的で効果のある授業を行っていくかということも課題であることが明らかになった。

(2) 生徒の実態と交流のさせ方

学習を進める際に、様々な視点からの考え方を交流することで理解を深められることが分かった。しかし、他者との交流に不安をもつ生徒がいることが調査によって明らかになった。中学校において、事前の指導することなく、自分の考えを述べ、話し合いをするような交流のさせ方には困難も伴う。また、そのための指導や実際の活動には、多くの時間が必要とされる。そこで、交流を伴う活動を行う際には、効率的で効果のある指導の方法が必要となると考えた。

2 課題に対する解決の方策

(1) ものの見方や考え方を広げるために生徒同士の交流の場を設定すること

文学的な文章を読み、その叙述を基に生徒は、ものの見方や考え方を広げる。さらに、その考え方を広げ、確かなものにするためには同じ文章を読んだ者同士で互いの考えが書かれたものを読み、その考えや根拠に対する質問点等を出し合うという生徒同士の交流の場を設定することが効果的であると考えた。

(2) 交流のさせ方の工夫

自己の考えを発表することが得意ではない者など、様々な生徒の実態や時間的な制約に対応できる点で、ブレインライティング法を活用し、自分の考えを提示し合うことを工夫した。

(3) 交流の時間を生み出すための指導の焦点化

生徒のものの見方や考え方を広げる交流の時間を生み出すために、単元の目標や学習活動の精選を行った。

3 検証授業

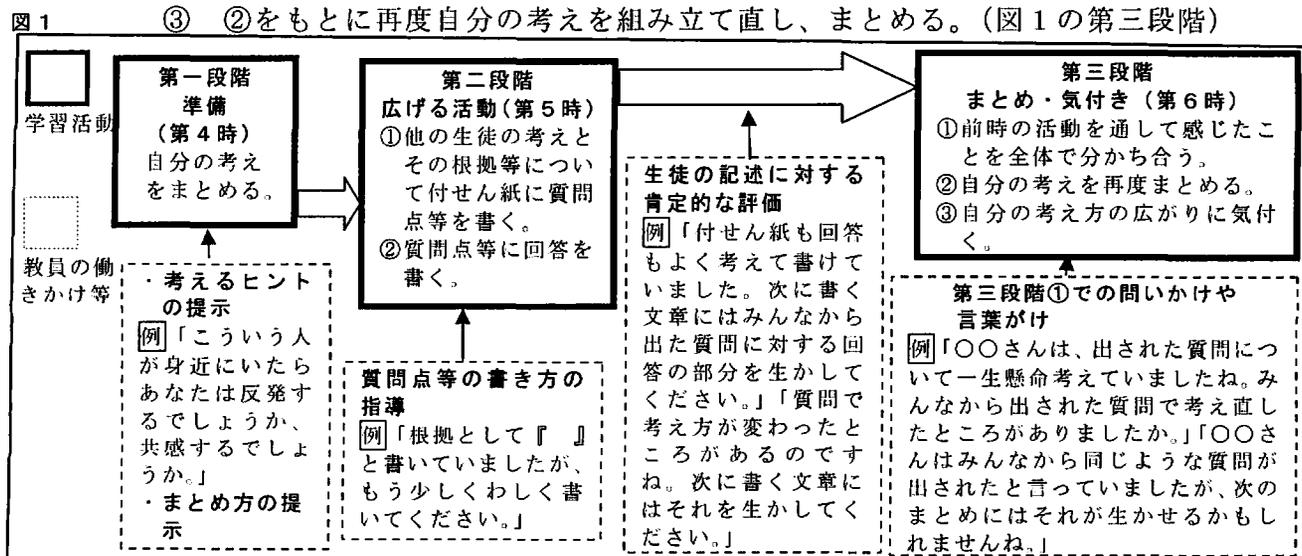
上記の「課題に対する解決の方策」の有効性を授業で検証した。

(1) ものの見方や考え方を広げるために生徒同士の交流の場を設定すること

〔方法〕① 根拠を明確にして自分の考えを百字以内でまとめる。(図1の第一段階)

② 記述を読み合う。ブレインライティング法を用い、考えやその根拠について質問点等を付せん紙を使用し、出し合う。回答を各自で書く。(図1の第二段階)

③ ②をもとに再度自分の考えを組み立て直し、まとめる。(図1の第三段階)

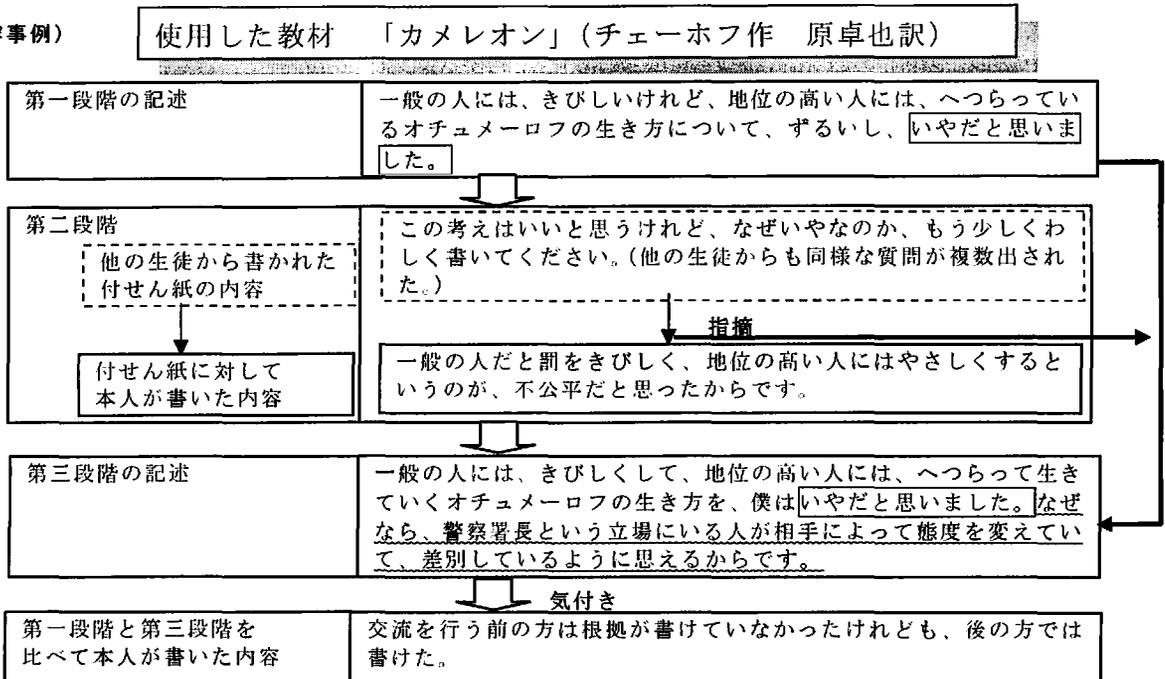


〔結果〕交流の前と後の生徒の記述の分析から、次の3点が明らかとなり、ものの見方や考

え方を広げることによって生徒同士の交流の場を設定することが有効であると分かった。

- 他の生徒からの指摘で自分の考えの根拠を明確にすることができるようになること。(図2の変容事例)
- 他の生徒からの指摘で根拠の部分をより詳しく表現できるようになること。
- 他の生徒からの指摘で、自分の考え方を広げ、それまでの自分の考えを組み立て直せること。

図2 (変容事例)



また、この学習後にとった感想からも、他の生徒との交流を取り入れた学習活動は考え方を広げることによって効果があることが検証できた。

生徒の感想例	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の表現のわかりにくいところがわかりました。 ・このような授業をしておもしろかった。自分の考え方も広がったし、人の意見もたくさん知ることができた。 ・自分とは違う意見があり、自分の読みをもう一度ふりかえることができ、考えが少し変わりました。
--------	--

(2) 交流のさせ方の工夫

[方法] ブレインライティング法の一部活用を考えた。この授業ではお互いの文章を読み合い、相手の考えやその根拠に対する質問点等を出し合う際にこの方法を活用した。他の生徒から自分の考え方を広げるための指摘をたくさん得るという目的で活用した。4名から5名のグループで、記述した内容を読み、それについて質問点等を書くという時間を1人あたり5分間に設定して進めた。

なお、指摘内容が的確なものになるように、また、相手が受け入れやすいものとなるようにするために、質問点等の書き表し方を前もって次のように指導した。

書き方例	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠として「 」と書いてありますが、もう少し詳しく書いてください。 ・根拠として「 」と書いてありますが、私は〇〇と思うのですが、どうですか。 ・オチュメーロフの生き方について私の考えはあなたとちがいで、〇〇と考えますがどうですか。 ・根拠として「 」と書いてあるのは自分が気付かなかった点なので参考になりました。 ・根拠として「 」と書いてあるのはわかりやすかったです。自分も同じように考えました。
------	---

[結果] この交流の方法で、考えとその根拠について質問点等を書いて出し合うという生徒同士の交流が短時間で活発にできた。次の感想からも書くことでの交流の効果が分かる。

生徒の感想例	・私は人前で話すのは苦手だけれど付せん紙に書いたりするのはとても楽しかったです。同じ意見の人や違う意見の人、いろいろな人の意見が聞けて、よかったですと思います。 ・今回の授業は自分の考えを出すのが多かった。自分は意見をあまり言えない方だけれど、今回は意見を出せて良かった。班みたいになって、付せん紙で質問したりするのが楽しかった。他の小説でもやってみたい。 ・他の人からもらった付せん紙のおかげで考える時間が速くなった。
--------	--

また、調査では交流の活動を取り入れる際の課題として「時間のかかること」と回答していた教員が80%いたが、この課題に対する方策としても効果があった。

(3) 交流の時間を生み出すための指導の焦点化

〔方法〕 単元の指導目標を精選し、指導目標に即した評価規準を設定することと単元の目標を達成するための学習活動を精選して準備することに留意した。

短時間で読み合いができるように第一段階の各自の考えを百字以内でまとめさせることとした。難解語句や新出漢字の指導についてなど、今回の単元の目標に入れなかった部分については自主的に取り組める補助プリントを用意した。また、人物像をとらえ、自分の考えをまとめる学習活動を、この小説の主題を考える学習に生かした。朗読指導は他の単元で扱うことを考えた。

〔結果〕 このような方法をとることによって、生徒が他の生徒の考えを知ったり、考えやその根拠について質問点等を出し合ったりして、自分の考え方を広げることができた。交流の時間を確保することができた。生徒の実態を踏まえつつ、その教材に適した学習活動を考え、一年間を見通した指導計画を立てていくことが重要である。

4 検証授業のまとめ

「読むこと」の指導において、登場人物に対する考えやその根拠を交流する場を設定することが生徒が自らの考え方を広げ、組み立て直すことに効果があることが分かった。また、生徒の実態を踏まえ、交流の方法を工夫することによって、短時間で主体的に考え、自分の考えに対し出された指摘を生かそうとする姿も見られるようになった。さらに、単元の指導目標と学習活動を精選することにより、「読むこと」の指導において生徒同士の交流時間を生み出すことができ、もの見方や考え方を広げる指導を重点的に行えることが明らかになった。

IV 研究のまとめ

1 研究の成果

本研究を通して、「読むこと」の指導において、生徒の実態を踏まえ、考えやその根拠に対する質問点等を付せん紙に書いて出し合うという交流の場を設定することが、生徒が自分の考えを組み立て直し、もの見方や考え方を広げるためには効果的であるということが分かった。

2 今後の課題

- (1) 考えとその根拠を交流し合うことで、考え方が広がった部分をより確実に記述に生かすため、個に応じた指導内容等を考えていくこと。
- (2) 生徒の実態を踏まえて、生徒同士の交流学習を取り入れた指導を年間指導計画のどこに位置付けるかを明確にすること。
- (3) 生徒が自らの学習を振り返り、継続的に学習を積み重ねることができるような指導方法を考えること。